

東青

みどりの通信

No.100

平成27年
2月20日



東青地域県民局地域農林水産部
■ 農業普及振興室 ■

〒030-0801
青森市新町二丁目4番30号
TEL 017-734-9965 FAX 017-734-8305
E-mail hi-nosui@pref.aomori.lg.jp

昭和51年9月から発行している「東青 みどりの通信」は今回で丁度第100号となりました。また、この記念すべき年に管内から『田中稔賞』、『青森県農業経営研究協会賞』及び『青森りんご勲章』の受賞（章）者が輩出されました。



ふくし たけぞう

福士武造さん「田中稔賞」を受賞！

本県の稲作農業の発展に顕著な業績を上げた個人及び団体を表彰する第34回（平成26年）「田中稔賞」を青森市浪岡の福士武造氏が受賞されました。「田中稔賞」は、早熟耐冷多収品種「藤坂5号」を育成し、県内外の稲作を冷害・凶作から救った田中稔博士の業績を称え、後世に伝えるべく創設されたもので、青森県稲作関係で最も権威のある賞です。

これまで東青管内では、第3回の金澤峰太郎さん（青森市内真部）、第4回の石田末廣さん（旧蟹田町小国）、第28回の農事組合法人 羽白開発（青森市羽白）及び第33回の大柳壽憲さん（青森市高田）が受賞しています。当管内からは、2年連続の受賞となりました。

贈呈式は、田中稔稲作顕彰会の相坂会長をはじめ、知事、青森市長（代理：工藤農林水産部参事）及び歴代受賞者など多数の関係者が出席する中、平成26年12月10日にホテル青森にて行われました。この度の受賞は、福士さんが取り組んでいる、①水稲有機栽培の実践、②水稲乾田直播栽培と大豆の輪作体系の確立、③地下かんがいシステムの開発による低コスト水稲栽培の確立、④地下かんがいシステムによる効果的かつ容易な水管理の実践などが高く評価されたものです。

贈呈式で福士さんは、「実践してきた地下かんがいシステムとV溝直播栽培の組み合わせは誰でも10俵穫れる低コスト稲作技術で、一度やったらやめられない。特に、若い人に技術を理解し引き継いでもらえるよう指導に力を入れていきたい。」と今後の抱負を述べていました。



受賞を喜ぶ福士武造さん（中央）、アヤ子さん（右、妻）、明宏さん（左、長男）



前年度受賞者の大柳さんから花束贈呈



がまん さとし

我満 智さん「青森県農業経営研究協会賞」を受賞！

青森市孫内のハウスでミニトマトを50a栽培する我満智さんが、「第33回青森県農業経営研究協会賞」を受賞しました。

この賞は、現在の厳しい農業情勢を乗り切っていくためユニークで特徴的な取組を行っている農業者や団体を表彰するもので、一般社団法人青森県農業経営研究協会が主催しています。

我満さんは、①「全国土の会（事務局 東京農業大学）」の青森県支部長を務め県が平成

19年度から始めた「日本一健康な土づくり運動」と連携して、土づくりの重要性を普及させたこと、②労働力を必要とするミニトマト栽培で、如何に効率的に収穫できるか常に考え、品種や作型、仕立て方を工夫していること、③青年就農給付金（準備型）を受給する新規就農者を積極的に受け入れ、蓬田村の空きハウスを紹介して就農するまで支援していることなどが評価されました。

東青管内からは、青森市の木立誠さん（平成3年度）、平内町の木立純一さん（平成12年度）に続き、3人目の受賞となります。



株式会社 アップルヒル 「青森りんご勲章」を受章！

りんご勲章は、青森県を代表する産物である「りんご」の発展に尽力された方や、りんごに着目した各種活動により本県のイメージアップに貢献された方の功績を讃えるため、知事が授与するものです。

平成26年度は、道の駅なみおかの指定管理者である「株式会社アップルヒル」と、本県産りんごジュースの販売に貢献した「株式会社JR東日本ウォータービジネス」が受賞し、授与式は平成26年11月5日に行われました。

株式会社アップルヒルは、平成8年に設立以来、道の駅としての本来の業務である、自動車運転者への休息場所や情報の提供はもちろんのこと、りんごをはじめとする地域の農産物を生かした商品開発やイベントの実施により、地域に貢献されてきました。

具体的には、道の駅敷地内にりんご園を整備し、もぎ取り体験や、「冬の林檎園」で観光客にアピールし、生産したりんごを活用したレストランでのりんご関連メニューの提供、アップルパイ等オリジナル商品の開発、「雪むろ林檎」の販売など、他の道の駅には類を見ない取組により、県内外にりんごの魅力を発信したことが評価されたものです。

今後も、地域振興の核として一層の活躍が期待されます。



前列左から3人目が株式会社アップルヒル小笠原社長



在来赤かぶの安定生産と需要拡大への取組

当地域では戦前から漬物用の赤かぶとして「筒井紅(つひいあか)かぶ」、「笹石(さざい)かぶ」が栽培されてきました。これらは、当地域ならではのものであり、また、「伝統野菜」として観光資源への活用が期待されることから、生産基盤の強化のため、「あおり伝統野菜研究会」を設立、生産者の組織化を図るとともに、種子選抜の実施による品質に安定化に取り組んでいます。また、需要拡大を図るため、地元料理店等での提供を目指して、漬物や漬物以外の新たな料理方法の開発に取り組んでおり、2月20日には消費者等を対象とした試食会を開催しました。



筒井紅かぶ

次年度は、栽培マニュアルの作成や料理店でのメニュー提供等、引き続き、伝統野菜の生産・拡大に取り組むこととしています。



笹石かぶ

【あおり伝統野菜研究会の概要】

目的：「筒井紅かぶ」「笹石かぶ」を伝承し、生産基盤を充実すること

設立：平成26年8月6日

構成：会長1名、副会長1名、会員5名＋1産直グループ

(事務局：東青農業普及振興室)



※研究会オブザーバー機関：(地独) 青森県産業技術センター野菜研究所、JA青森、青森市



稲発酵粗飼料(WCS)の取組が、平内町で始まりました

水田の有効利用を図るため、平内町の農業経営士である水稻農家や酪農家たちが話し合い、平成26年から水田約7.5haで稲発酵粗飼料(WCS)を生産し、乳牛や黒毛和種繁殖牛の粗飼料への利用が始まりました。

WCS用稲の水田活用の直接支払交付金は8万円/10aですが、平内町農業再生協議会では戦略作物として約1万円加算し、交付金は約9万円/10aとなりました。

収穫は農機メーカーへの委託により、平成26年9月17日から平内町薬師野地区で行われました。水田畦からの運搬は利用者側の酪農家が行うとのことで、ラッピングされたロールを酪農家たちがトラックに積載して近くの狩場沢地区へ運搬しました。運搬距離が短く、生産されたWCSは牛にとって良質の粗飼料となり、地域資源の有効利用も図られることから、有意義な取組となりました。



収穫中のWCS用稲



乳牛へ給与している稲WCS



「農業と福祉とのマッチング活動」を進めています

県では、農業振興における障がい者雇用の可能性を探るため、農福連携の取組を進めています。今年、青森市の福祉事業所と3農家の協力を得て障がい者に農作業の体験をしてもらいました。

このうちA農家の受入では、1日3時間で3日間に渡り、福祉事業所から利用者3名と指導員1名が農家に出向き、摘果りんごを加工用と廃棄用に分別する作業等を行いました。最初は慣れないため手こずる場面もみられましたが、すぐに手際よく上手に分別できるようになりました。

この試行は、農業者から労力不足の一助として喜ばれるとともに、福祉側にとっても「農業への就職」のきっかけづくりとなりました。



新農業経営士、青年農業士、ViC・ウーマン、「あおもり土づくりの匠」を紹介します

● 農業経営士



よしだ つとむ
吉田 勉 さん (蓬田村)

J A青森トマト部会東つがる支部の部会長を10年に渡り務め、「よもぎたトマト」産地の強化に取り組んでいます。

● ViC・ウーマン



つがわ あやこ
津川 あや子 さん (青森市)

J A女性部や母親クラブを通して、郷土食や伝統行事を伝えるなど、地域に密着した活動を行っています。個人では、りんご宅配にも一部取り組んでいます。

● 青年農業士



やだ こうすけ
矢田 康祐 さん (青森市)

平成20年に就農し、りんごを主体とした水稲との複合経営で、中間台を利用したわい化栽培に取り組む、省力的で高品質なりんご生産を実践しています。



やまもと ゆみこ
山本 由美子 さん (平内町)

加工グループでホタテ等を活用した町の特産品づくりに努めています。また、無農薬無肥料栽培を実践するなど食を通じた健康づくりに意欲的に取り組んでいます。

● 青森土づくりの匠 (畜産部門)



きだいち じゅんいち
木立 純一 さん (平内町)

牛糞と籾殻を充分発酵させた堆肥を生産し、青森県畜産協会主催の堆肥品評会で、4回入賞しています。健康な土づくりの指導的な役割を担います。



あいうち なおみ
相内 直美 さん (今別町)

「いまべつ野菜の会」の事務局を務め、研修企画や新作物導入を働きかけています。自らの農業では、畜産(繁殖牛)も担当し、今別牛の生産に尽力しています。



東青地域県民局 地域農林水産部 (農業普及振興室) が仮移転します

平成27年6月より、県庁舎耐震・長寿命化改修工事に伴い、東青地域県民局地域農林水産部(農業普及振興室)は、県庁北棟4階から青森フコク生命ビルに仮移転します。

移転先の住所 〒030-0861 青森市長島2丁目10-3 青森フコク生命ビル6階

